



夏休み号

平成30年7月20日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

いよいよ夏休み

校長 天野 直美

明日よりいよいよ子どもたちにとって待ちに待った夏休みとなります。しかし保護者の皆様にとっては「お昼ご飯の準備をどうしよう。」とか「何をして子どもと過ごそうか。」「宿題をちゃんとやらせなくちゃ。」など、悩みも多くあるのではとお察しします。子どもたちが普段よりゆっくり支度をして、学校の宿題をして（子どものペースでやらせて、たまってしまったらおうちの方にはっぱをかけられ、時に一緒にやってもらい・・・）、おうちのお手伝いができればよいのです。おおらかな気持ちでお子様を見守ってください。子どもたちが家で過ごす喜びを味わい、保護者の皆様にもお子様と過ごす時間を楽しんでいただきたいと思います。しかし、今の子どもたちは習い事等で忙しいと聞きます。もちろん保護者の皆様には夏休みなどなく、日々多忙です。とにかく最低限やるべきことはやって、親子共々「少しはのんびり楽しく過ごせた。」と思える夏休みにしてもらえたらと思います。くれぐれも事故に気を付け、夏休み明けみんな元気に笑顔で学校に戻ってきてほしいです。

私が小学生の時の夏休みはどうだったかと思い出すと、合唱部に入っていたので、毎日のように練習のために学校に行きました。私の田舎は盆地で夏は暑く、よく雷が発生しました。田んぼの真ん中に学校があったので、体育館で練習していると稲妻が体育館の窓から窓へ突っ切るように鋭く光ってすぐ近くにガラガラガラという大音響で落雷し、本当に怖かったです。それでも合唱コンクールが夏休みから秋にかけてありましたので、けっこう厳しい練習が毎日続きました。ずっと立ちっぱなしで練習しました。持久走や腹筋運動もありました。しかし、練習の合間に体育館で友達とたくさん遊んだことを今一番覚えています。当時私の小学校には競技にも使えそうなトランポリンが置いてあり、ジャンプや簡単なでんぐり返しをして技を競ったり、バレーボールブームだったこともあり、テレビドラマで放送されていた魔球サーブをまねたりして遊んだりしました。先生から「練習始めるよ。」という一言があると、「あーあ、残念。」と思いつつも「しかたない、がんばろう。」と気持ちを奮い立たせていました。コンクールに挑む子どもたちの苦労も喜びも私自身体験しました。8月25日のジャパンカップを皮切りに本校マーチングバンドの挑戦がいよいよ始まります。私が経験した練習より厳しい練習だな、と昨年思いました。しかし子どもたちはものすごく頑張っていました。子どもたちにはまず、自分とチームメイトの心と体を大切にしていって取り組んでほしいと思います。結果も大事ですが、子どもたちが自分のしてきた事に誇りをもち、指導の先生方や保護者・地域などお世話になった方々に感謝する心が育てばよいと思っています。

地域の皆様には、毎年お祭りやキャンプなど様々な場面で子どもたちがお世話になっております。また、日頃よりの交通安全の見守りやマーチングバンドの練習に対するご支援・ご協力もふくめ、心より感謝申し上げます。これからもよろしく願いいたします。